

発達障がい者の相談対応に関するアンケート 回答用紙

○ご回答期限：令和7年5月30日（金曜日）

○ご回答方法：本回答用紙にご記入いただくか、オンライン回答フォームからご回答ください。

・オンラインにて回答いただく場合、下記リンク先にて回答を入力してください。

その際、本回答用紙のご提出は不要です。

（回答フォーム） <https://lgpos.task-asg.net/cu/270008/ea/residents/procedures/apply/4f1d63c2-b59e-4aa1-83fe-73126d22b47e/start>

・アンケート用紙にてご回答いただく場合、下記あてにメールまたはFAXにてご提出ください。

送付先：大阪府福祉部障がい福祉室地域生活支援課 発達障がい児者支援グループ

E-mail： HattatsuG@gbox.pref.osaka.lg.jp FAX：06-6944-2237



事業所・機関名			
種別 障がい福祉所管課・障害者相談支援事業所 等			
所在市町村			
電話番号			
メールアドレス			
記入者（担当者）名			

項目	選択肢	回答	
（１）令和６年度における相談実績について、可能な範囲でお答えください。 （対象年齢は、18歳以上） ※把握している場合のみ概算で記載してください。 不明の場合は空欄としてください。	① 全相談者数	人	
	② ①の内、発達障がいの診断がある方及び可能性のある方（以下「発達障がい者等」という。）の割合 ※可能性のある方は対応者の判断で算定可	割程度	
	③発達障がいの診断がある相談者の内、手帳取得者の割合	療育手帳	割程度
		人	
		精神保健福祉手帳	割程度
		人	
（２）発達障がい者等についての初回相談は、誰からの相談ですか？ 多いもの５つ に○印を記入してください。	① 本人		
	② 家族・親族		
	③ 勤務先		
	④ 近隣住民		
	⑤ 教育機関		
	⑥ 医療機関		
	⑦ 支援機関		
	⑧ 行政機関		
	⑨ その他（下記に記載してください。）		

(3)-1 相談者が本人の場合、主にどのような相談がありますか？ 特に多いものを5つまで選んで○印をつけてください。	自立・生活に関するもの	①経済面（金銭管理含）の困難さやニーズ	
		②生活面の困難さやニーズ（衣食住）	
		③生活リズムに関すること	
		④支援制度の利用や申請に関すること	
	将来に関するもの	①将来への不安	
		②就学に関すること	
		③就労に関すること	
		④ニート・ひきこもり	
	対人関係に関するもの	①対人関係・コミュニケーションに関すること	
		②家庭内のこと（家族関係・家庭内暴力）	
		③障がい特性に対する周囲の理解	
	健康に関するもの	①ストレスや二次障がいの問題	
		②診断や医療に関すること	
	トラブルに関するもの	①社会的適応を妨げる状況や行為（依存、迷惑行為・触法行為等）	
②危機管理（消費者トラブル・インターネット被害等）			
その他 (内容をご記入ください)			
(3)-2 相談者が本人以外の場合、主にどのような相談がありますか？ 特に多いものを5つまで選んで○印をつけてください。	自立・生活に関するもの	①経済面（金銭管理含）の困難さやニーズ	
		②生活面の困難さやニーズ（衣食住）	
		③生活リズムに関すること	
		④支援制度の利用や申請に関すること	
	将来に関するもの	①本人に対する将来への不安	
		②就学に関すること	
		③就労に関すること	
		④ニート・ひきこもり	
	対人関係に関するもの	①対人関係・コミュニケーションに関すること	
		②家庭内のこと（家族関係・家庭内暴力）	
		③障がい特性に対する周囲の理解	
	健康に関するもの	①ストレスや二次障がいの問題	
		②診断や医療に関すること	
	トラブルに関するもの	①社会的適応を妨げる状況や行為（依存、迷惑行為・触法行為等）	
		②危機管理（消費者トラブル・インターネット被害等）	
	その他 (内容をご記入ください)		

(4) 発達障がい者等からの相談に対応される中で、特に支援の難しさを感じることはありますか。当てはまるものに○を付けてください。 (複数選択可)	アセスメントやニーズ把握	①特性の把握が難しい	
		②二次障がいや他の精神症状と区別がつきにくい	
		③ニーズの把握や整理が難しい	
		④困りごとの背景に発達障がいがあるということが分かりにくい	
		⑤本人のニーズと能力や適性との間でミスマッチがある	
	対応	①発達障がいの自覚や受容がない方への対応が難しい	
		②案内できる支援制度やサービス、社会資源が少ない	
		③相談を受けてどの支援機関等へつなげばよいのかわからない	
		④相談対応時のコミュニケーションの取り方や配慮が難しい	
	理解	①本人が福祉制度（手帳・障がい者雇用等）の利用について消極的である	
		②家族の理解や協力を得ることが難しい	
		③第三者（地域、職場等）の理解を得ることが難しい	
	他機関との連携	①行政機関との連携がしづらい	
		②本人の所属先（勤務先や学校等）との連携がしづらい	
		③医療機関（主治医）との連携がしづらい	
		④（上記を除く）支援機関との連携がしづらい 下記に①～③以外の連携しづらい支援機関を記載してください。	
	その他 (特に支援が難しいと感じる場面やケースがあれば記載してください。)		
	(5) 現在の発達障がい者等への相談体制に関する課題について、当てはまるものを選択してください。	①相談ニーズの増大や人手不足の影響から、相談対応ができるスタッフが確保できない	
②発達障がいに関する基本的な知識を習得できていない ※基本的な知識…障がいの種類や特性についての一般的な知識を指します			
③相談者の発達特性に気づくための視点が不足している			
④発達障がいの特性に配慮した相談対応のスキルが不足している			
⑤発達障がいの特性に配慮した環境設定ができていない ※環境設定の例…感覚過敏等の方に配慮した相談室、図や絵を使ったコミュニケーションツールの活用等			
⑥発達障がいについて学ぶ研修の機会が少ない			
⑦ケースへの対応について相談できる発達障がいの専門機関が身近にない			
⑧発達障がい者のニーズに対応できる社会資源の情報が不足している			
⑨その他 (上記以外に相談体制に関する課題があれば記載してください。)			

(6) 発達障がい者等の相談対応にあたり必要だと思われるものを3つ選んで○印をつけてください。	①地域自立支援協議会等で、発達障がいに関する地域の課題整理や情報交換を行う		
	②市町村での発達障がい者の受け皿となる社会資源を開拓する		
	③発達障がいの診断や診療を行う専門医療機関を増やす		
	④相談対応ができるスタッフの増員		
	⑤特性に配慮した相談対応ができるスタッフのスキルや専門性の向上		
	⑥発達障がいに関する専門機関や市町村の相談対応窓口との連携		
	⑦専門機関や専門家による助言が身近で受けられるシステム		
	⑧あてはまるものはない・わからない		
	その他 (①～⑦以外に必要なと思われるものがあれば記載してください。)		
(7) 発達障がいの専門機関である発達障がい者支援センターに期待する役割はどのようなものですか。 当てはまるものに○印をつけてください。(複数選択可)	①関係施設及び関係機関等に対する基礎的な内容の研修・啓発の実施		
	②関係施設及び関係機関等に対する専門的・実践的な内容の研修の実施		
	③発達障がい者が利用できる社会資源や制度等に関する情報の共有・発信		
	④発達障がい者の関係施設及び関係機関との連携の場づくり		
	⑤府民や企業に対する発達障がいの正しい理解の促進		
	⑥発達障がいの専門性が必要な相談ケースへの助言や対応		
	その他 (①～⑥以外に期待する役割があれば記載してください。)		
(8) 発達障がいに関する研修テーマとして、関心のあるテーマがあれば○印をつけてください。(複数選択可)	①発達障がいの定義及び特性		
	②発達障がい児(者)の早期発見		
	③発達障がい児(者)のアセスメント		
	④関係施設・関係機関の連携 (支援内容に関する情報共有の具体的な手法等を含む)		
	⑤発達障がい児(者)の家族に対する支援		
	⑥対応困難な事例に対する支援		
	⑦具体的な事例検討		
	⑧その他 (①～⑦以外に関心のあるテーマがあれば記載してください。)		

(9) 現在所属する機関の職員が受けることのできる研修や人材育成のプログラムで、発達障がいをテーマとして取り扱っていますか。 取り扱っている場合、どのような内容ですか。(※他の機関が実施する研修等は除きます)	発達障がいをテーマに含む研修や人材育成プログラムの有無	
	「ある」を選択した場合、下記に内容を記載してください。	
	研修等の名称	
	時期・頻度	
	実施方法 (例) 対面・オンライン・オンデマンド・冊子やマニュアル等の配布	
	対象者	
(10) 今後、必要だと思われる社会資源やサービスについて、具体的にご記入ください。		
(11) 最後に、大阪府における発達障がい者への支援に関するご意見等ございましたら、自由にご記入ください。		

ご回答ありがとうございました。